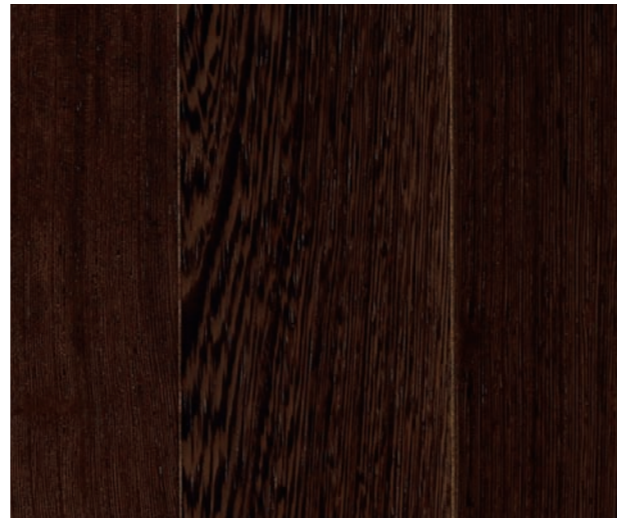


スタイリッシュな雰囲気の色合い。淡い縞との風趣が空間に深みと奥行きを与える。

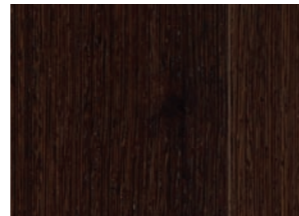


Characters

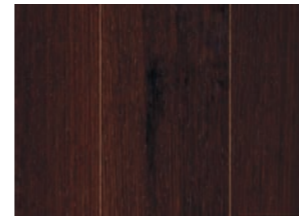
本物だから現れる数々のキャラクター
リップルマーク



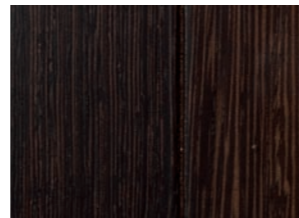
ノット



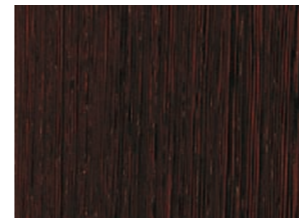
ミネラルストリーク



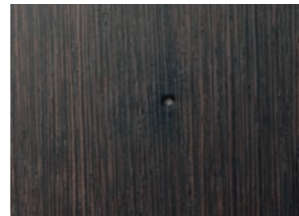
縞の表情



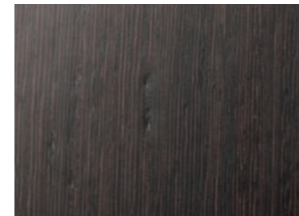
ホワイトステッチ



ピンホール



ディンプル



- リップルマーク
濃褐色の心材の中に、淡い柔組織の帯が規則的に配列されたさざ波模様。
- ディンプル
ところどころ見られる、材の柔らかい部分が掘り取られてできるくぼみ。目ぼれと呼ばれる。
- ピンホール
ところどころ見られるもので、虫などに傷つけられた跡がピン状の凹みとなって現れる。

Wenge ウェンジ

黒く沈んだ色調と独特の繊細な木目。現代インテリア意匠の中でもひとときモダンで上質な存在感を放つ。それがライブナチュラル・リミテッド「ウェンジ」の魅力です。アフリカの現地では、ナイフの柄や木像にも使用されていた材です。黒のスタイリッシュなイメージに、ヨーロッパのデザイナーが注目して家具に使用したことから人気が沸騰しました。高級ブティックの内装や什器に使用されるなど、その上質感は高い人気を誇ります。今ではシンプルかつモダンな雰囲気を醸し出すインテリア材として、家具や建具、内装材、また楽器などに広く使われるようになりました。心材は、黒または褐色で、リップルマークと呼ばれる独特の美しいさざ波模様が見られます。辺材は白色。木理はやや交錯し、肌目が粗いのが特徴。着色した黒では得られない奥行きのある渋みが、モダンな空間を引き締め、インテリアの魅力を高める。どのような家具との組み合わせにも絶妙のコントラストを見せて、シックでありながら豪華な雰囲気を漂わせる。「ウェンジ」には、そんな演出を可能とする力があります。

原産地  Place of origin



アフリカ中央部



樹種紹介

ウェンジの最大の魅力は、装飾的な価値の高さにある。アフリカ大陸の中央部が原産地。現地ではナイフの柄や木像に加工されているが、ヨーロッパへも盛んに輸出されている。輸出量は、かつての宗主国であったフランスが最も多く、高級家具やフローリングなどに使用されている。黒褐色の色合いに淡色の細かい独特な縞模様を活かし、装飾的な用途で用いることにより、インテリアを一層魅力的に引き立てる。着色した黒では得られない奥行きと渋みを味わうことができます。1990年代にイタリアのトップ家具ブランドである「B&B Italia」が、この材の供給のためアフリカ コンゴに路をつくってから高級家具材として普及したそうで、現在ではシンプルでモダンな家具や建具、内装材として使われることが多くなっています。より都市的なインテリアとして、のコントラストを協調するのに欠かせない樹種の一つになりつつあります。



ウェンジのカウンター